

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-133988

(43)Date of publication of application : 22.05.1998

(51)Int.Cl. G06F 13/00
G06F 13/00
G06F 12/00
G06F 17/21

(21)Application number : 09-209445

(71)Applicant : NIPPON TELEGR & TELEPH CORP <NTT>

(22)Date of filing : 04.08.1997

(72)Inventor : TAKAGAWA YUICHIRO
OTOMO TAKESHI
SHIMOKURA KENICHIRO

(30)Priority

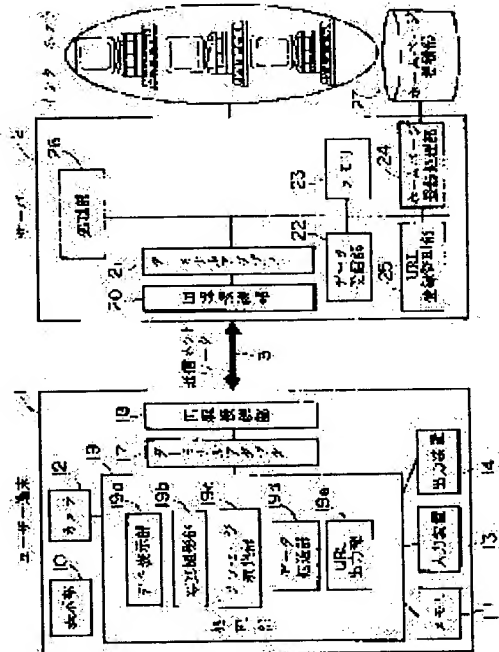
Priority number : 08214762 Priority date : 14.08.1996 Priority country : JP

(54) HOME PAGE PREPARING/REGISTERING METHOD, ITS SYSTEM, INTERACTIVE MULTIMEDIA INFORMATION INPUT DEVICE AND RECORDING MEDIUM STORED WITH INTERACTIVE MULTIMEDIA INFORMATION INPUT PROGRAM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To simply prepare and register a home page.

SOLUTION: At a user terminal 1, a message editing part 19c selects the constitution and the back ground of the home page from a memory 11, edits/ prepares the home page including image information photographed by a camera 12 and messages and decides a category from previously prepared category information. Prepared home page data and category are transmitted to a server 2 through internet 3. At the server 2, home page data are sorted by the category to be stored in a home page storing part 27 at the time of receiving home page data and the category, and a URL(uniform response locator) registering processing part 25 decides a URL of the home page and sends the URL back to the user terminal 1 sending the home page. At the time of receiving the URL, the user terminal 1 outputs information including home page data to paper by an output device 14.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-133988

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月22日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I
G 0 6 F 13/00	3 5 7	G 0 6 F 13/00
	3 5 4	3 5 7 Z
12/00	5 4 7	3 5 4 Z
17/21		12/00 5 4 7 H
		15/20 5 9 6 Z

審査請求 未請求 請求項の数22 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願平9-209445

(22) 出願日 平成9年(1997) 8月4日

(31) 優先権主張番号 特願平8-214762

(32) 優先日 平8(1996) 8月14日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号

(72) 発明者 高川 雄一郎

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本
電信電話株式会社内

(72) 発明者 大友 武司

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本
電信電話株式会社内

(72) 発明者 下倉 健一郎

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本
電信電話株式会社内

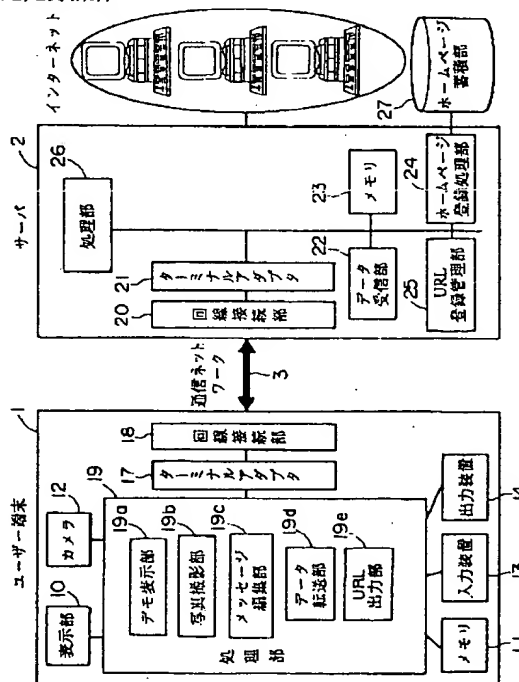
(74) 代理人 弁理士 志賀 正武

(54) 【発明の名称】 ホームページ作成・登録方法およびシステムと対話型マルチメディア情報入力装置並びに対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 ホームページの作成・登録を簡便に行う。

【解決手段】 ユーザ端末1では、メッセージ編集部19cがメモリ11からホームページの構成、背景を選択し、カメラ12で撮影した画像情報とメッセージを含めてホームページを編集・作成し、また予め用意されたカテゴリ情報からカテゴリを決定する。作成されたホームページデータとカテゴリはサーバ2にインターネット3を介して送信される。サーバ2ではホームページデータとカテゴリを受信すると、ホームページデータをカテゴリで分類してホームページ蓄積部27に格納し、URL登録処理部25でホームページのURLを決定し、URLをホームページを送出したユーザ端末1に返送する。ユーザ端末1はURLを受信すると、URLとホームページデータを含む情報を出力装置14により用紙に出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 サービス・プロバイダに設けられたサーバと複数のユーザ端末が接続されたシステムにおけるホームページ作成・登録方法であって、

前記ユーザ端末では、ホームページを編集・作成し、作成したホームページデータを前記サーバに送信し、当該送信の後に前記サーバより送出されるアドレスに関する情報を受信し、該情報を含む情報を用紙に出力し、

前記サーバでは、前記ユーザ端末より前記ホームページデータを受信すると、該ホームページデータを記憶装置に格納し、該ホームページのアドレスに関する情報を決定し、該決定した情報を前記ホームページデータを送出したユーザ端末に返送することを特徴とするホームページ作成・登録方法。

【請求項2】 前記ユーザ端末は、ホームページの編集・作成とともに、予め用意されたカテゴリ情報からカテゴリを決定し、前記作成されたホームページデータと前記カテゴリとを前記サーバに送信し、

前記サーバは、前記ユーザ端末より前記ホームページデータとカテゴリとを受信し、該カテゴリに基づき、該ホームページデータの分類を行い前記記憶装置に格納することを特徴とする請求項1に記載のホームページ作成・登録方法。

【請求項3】 前記ユーザ端末または前記サーバは、前記編集・作成されたホームページをWWW対応とするためのHTML化を行うことを特徴とする請求項1または請求項2に記載のホームページ作成・登録方法。

【請求項4】 前記サーバは、前記カテゴリに基づいたレイアウト設定および前記記憶装置に格納されたホームページデータとのリンクを行うことによりWWW対応とするためのHTML化を行うことを特徴とする請求項2に記載のホームページ作成・登録方法。

【請求項5】 前記サーバは、前記アドレスに関する情報決定後、前記ホームページのインデックスをサーバの所定ページに登録するとともに、該インデックスと前記格納したホームページデータとを連係させることを特徴とする請求項1または請求項2に記載のホームページ作成・登録方法。

【請求項6】 前記サーバでは、前記ホームページのインデックスを所定ページに登録した後、所定の期間が経過したときには、前記格納されたホームページデータを削除するとともに、該削除したホームページのインデックスを該所定ページより削除を行うことを特徴とする請求項1に記載のホームページ作成・登録方法。

【請求項7】 前記ホームページのアドレスに関する情報は、登録したホームページのアドレスとなるURL、登録したホームページ固有の識別子であるアクセスIDのいずれか1つ、もしくは両方であることを特徴とする請求項1に記載のホームページ作成・登録方法。

【請求項8】 サービス・プロバイダ側に設けられたサーバと複数のユーザ端末とが接続されたホームページ作成・登録システムであって、

前記ユーザ端末は、ホームページを編集・作成するホームページ作成手段と、該作成したホームページデータを前記サーバに送信する送信手段と、該送信の後に前記サーバより送出されるアドレスに関する情報を受信する受信手段と、該アドレスに関する情報を含む情報を用紙に出力する出力手段とを備え、

10 前記サーバは、前記ユーザ端末より前記ホームページデータを受信するホームページ受信手段と、該ホームページデータを記憶装置に格納するホームページ登録手段と、該ホームページのアドレスに関する情報を決定する決定手段と、決定した情報を前記ホームページデータを送出したユーザ端末に転送するデータ返送手段とを備えたことを特徴とするホームページ作成・登録システム。

【請求項9】 前記ホームページ作成手段では、ホームページの編集・作成に加え、さらに予め用意されたカテゴリ情報からカテゴリの決定を行い、

20 前記送信手段では、作成されたホームページデータに加え、前記カテゴリとを前記サーバに送信し、前記受信手段では、前記ユーザ端末より前記ホームページデータに加え、前記カテゴリを受信し、

前記ホームページ登録手段では、該カテゴリに基づき、該ホームページデータの分類を行い前記記憶装置に格納することを特徴とする請求項8に記載のホームページ作成・登録システム。

【請求項10】 前記ユーザ端末または前記サーバは、前記編集・作成されたホームページをWWW対応とするためのHTML化手段をさらに備えたことを特徴とする請求項8または請求項9に記載のホームページ作成・登録システム。

【請求項11】 前記サーバは、前記受信したカテゴリに基づいたレイアウト設定および前記記憶装置に格納されたホームページデータとのリンクを行うことによりWWW対応とするためのHTML手段をさらに備えたことを特徴とする請求項9に記載のホームページ作成・登録システム。

【請求項12】 前記サーバは、前記アドレスに関する情報の決定後、当該ホームページのインデックスを所定ページに登録する手段と、前記インデックスと前記格納したホームページデータとを連係させる手段をさらに備えたことを特徴とする請求項8または請求項9に記載のホームページ作成・登録システム。

【請求項13】 前記サーバは、前記ホームページのインデックスを所定ページに登録した後、所定の期間が経過したときには、前記格納したホームページデータを削除するとともに、該削除したホームページのインデックスを該所定ページより削除する手段をさらに備えたことを特徴とする請求項12に記載のホームページ作成・登

録システム。

【請求項14】 ホームページのアドレスに関する情報は、

登録したホームページのアドレスとなるURL、登録したホームページ固有の識別子であるアクセスIDのいずれか1つ、もしくは両方であることを特徴とする請求項8に記載のホームページ作成・登録システム。

【請求項15】 サービス・プロバイダ側に設けられたサーバと接続された対話型マルチメディア情報入力装置であって、

前記ホームページを所定の操作方法にしたがって編集・作成するホームページ作成手段と、該作成されたホームページデータを前記サーバに送信する送信手段と、該送信の後に前記サーバより送出されるアドレスに関する情報受信する受信手段と、該アドレスに関する情報を含む情報を用紙に出力する出力手段とを備えたことを特徴とする対話型マルチメディア情報入力装置。

【請求項16】 前記ホームページ作成手段では、ホームページの編集・作成に加え、さらに予め用意されたカテゴリ情報からカテゴリを決定を行い、

前記送信手段では、作成されたホームページデータに加え、前記カテゴリとを前記サーバに送信することを特徴とする請求項15に記載の対話型マルチメディア情報入力装置。

【請求項17】 前記対話型マルチメディア情報入力装置は、

前記編集・作成されたホームページをWWW対応とするためのHTML化手段をさらに備えたことを特徴とする請求項15または請求項16に記載の対話型マルチメディア情報入力装置。

【請求項18】 ホームページのアドレスに関する情報は、

登録したホームページのアドレスとなるURL、登録したホームページ固有の識別子であるアクセスIDのいずれか1つ、もしくは両方であることを特徴とする請求項15に記載の対話型マルチメディア情報入力装置。

【請求項19】 サービス・プロバイダ側に設けられたサーバと接続されて、作成されたホームページに関する情報を前記サーバに登録するための対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

前記ホームページを所定の操作方法にしたがって編集・作成するホームページ作成手段と、該作成されたホームページデータを前記サーバに送信する送信手段と、該送信の後に前記サーバより送出されるアドレス情報を受信する受信手段と、該アドレスに関する情報を用紙に出力する出力手段として機能させるための対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録した記録媒体。

【請求項20】 前記ホームページ作成手段では、ホームページの編集・作成に加え、さらに予め用意されたカ

テゴリ情報からカテゴリを決定を行い、

前記送信手段では、作成されたホームページデータに加え、前記カテゴリとを前記サーバに送信することを特徴とする請求項19に記載の対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録した記録媒体。

【請求項21】 前記対話型マルチメディア情報入力プログラムは、

前記編集・作成されたホームページをWWW対応とするためのHTML化手段をさらに機能させることを特徴とする請求項19または請求項20に記載の対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録した記録媒体。

【請求項22】 ホームページのアドレスに関する情報は、

登録したホームページのアドレスとなるURL、登録したホームページ固有の識別子であるアクセスIDのいずれか1つ、もしくは両方であることを特徴とする請求項19に記載の対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、サービス・プロバイダのサーバと複数のユーザが接続されたシステムにおいて、ユーザ端末でホームページを作成し、作成されたホームページをサーバに登録するホームページ作成・登録方法およびシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】ホームページをWWWサーバ(World Wide Web Server)に登録する従来の方法は、専用言語(Hyper Text Markup Language;以下HTMLとする)を用い、その文法に則ったソースコードを作成するか、HTML専用のエディタ等を用い、ワードプロセッサ感覚で作ったデータからソースコードを生成するかのいずれかで、なおかつ利用者は、それらを作成するためにパーソナルコンピュータが必要である。そして、インターネット・サービス・プロバイダと回線を接続し、できたホームページデータをファイル転送(File Transfer Protocol;以下FTPとする)でWWWサーバにファイル転送し、プロバイダのホームページに登録依頼する必要があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の方法は、ホームページデータを作成するのが困難であり、かつファイル転送もIPアドレス、ドメイン・ネーム・サーバ名等を登録し、回線接続しなければならないし、ホームページ登録の依頼をインターネット・サービス・プロバイダに出さなくてはならない。

【0004】本発明の目的は、ホームページの作成から登録までの一連の処理を簡便に行うことができるホームページ作成・登録方法およびシステムと対話型マルチメ

ディア情報入力装置ならびに対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録した記録媒体を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明のうち請求項1に記載の発明は、サービス・プロバイダに設けられたサーバと複数のユーザ端末が接続されたシステムにおけるホームページ作成・登録方法であって、前記ユーザ端末では、ホームページを編集・作成し、作成したホームページデータを前記サーバに送信し、当該送信の後に前記サーバより送出されるアドレスに関する情報を受信し、該情報を含む情報を用紙に出力し、前記サーバでは、前記ユーザ端末より前記ホームページデータを受信すると、該ホームページデータを記憶装置に格納し、該ホームページのアドレスに関する情報を決定し、該決定した情報を前記ホームページデータを送出したユーザ端末に返送することを特徴とするホームページ作成・登録方法である。

【0006】また、請求項2に記載の発明は、請求項1に記載のホームページ作成・登録方法において、前記ユーザ端末が、ホームページの編集・作成とともに、予め用意されたカテゴリ情報からカテゴリを決定し、前記作成されたホームページデータと前記カテゴリとを前記サーバに送信し、前記サーバは、前記ユーザ端末より前記ホームページデータとカテゴリとを受信し、該カテゴリに基づき、該ホームページデータの分類を行い前記記憶装置に格納することを特徴としている。

【0007】また、請求項3に記載の発明は、請求項1または請求項2に記載のホームページ作成・登録方法において、前記ユーザ端末または前記サーバが、前記編集・作成されたホームページをWWW対応とするためのHTML化を行うことを特徴としている。

【0008】また、請求項4に記載の発明は、請求項2に記載のホームページ作成・登録方法において、前記サーバが、前記カテゴリに基づいたレイアウト設定および前記記憶装置に格納されたホームページデータとのリンクを行うことによりWWW対応とするためのHTML化を行うことを特徴としている。

【0009】また、請求項5に記載の発明は、請求項1または請求項2に記載のホームページ作成・登録方法において、前記サーバが、前記アドレスに関する情報決定後、前記ホームページのインデックスをサーバの所定ページに登録するとともに、該インデックスと前記格納したホームページデータとを連係させることを特徴としている。

【0010】また、請求項6に記載の発明は、請求項5に記載のホームページ作成・登録方法において、前記サーバでは、前記ホームページのインデックスを所定ページに登録した後、所定の期間が経過したときには、前記格納されたホームページデータを削除するとともに、該

削除したホームページのインデックスを該所定ページより削除を行うことを特徴としている。

【0011】また、請求項7に記載の発明は、請求項1に記載のホームページ作成・登録方法において、前記ホームページのアドレスに関する情報が、登録したホームページのアドレスとなるURL、登録したホームページ固有の識別子であるアクセスIDのいずれか1つ、もしくは両方であることを特徴としている。

【0012】次に、請求項8に記載の発明は、サービス・プロバイダ側に設けられたサーバと複数のユーザ端末とが接続されたホームページ作成・登録システムであって、前記ユーザ端末は、ホームページを編集・作成するホームページ作成手段と、該作成したホームページデータを前記サーバに送信する送信手段と、該送信の後に前記サーバより送出されるアドレスに関する情報を受信する受信手段と、該アドレスに関する情報を含む情報を用紙に出力する出力手段とを備え、前記サーバは、前記ユーザ端末より前記ホームページデータを受信するホームページ受信手段と、該ホームページデータを記憶装置に格納するホームページ登録手段と、該ホームページのアドレスに関する情報を決定する決定手段と、決定した情報を前記ホームページデータを送出したユーザ端末に転送するデータ返送手段とを備えたことを特徴とするホームページ作成・登録システムである。

【0013】また、請求項9に記載の発明は、請求項8に記載のホームページ作成・登録システムにおいて、前記ホームページ作成手段では、ホームページの編集・作成に加え、さらに予め用意されたカテゴリ情報からカテゴリの決定を行い、前記送信手段では、作成されたホームページデータに加え、前記カテゴリとを前記サーバに送信し、前記受信手段では、前記ユーザ端末より前記ホームページデータに加え、前記カテゴリを受信し、前記ホームページ登録手段では、該カテゴリに基づき、該ホームページデータの分類を行い前記記憶装置に格納することを特徴としている。

【0014】また、請求項10に記載の発明は、請求項8または請求項9に記載のホームページ作成・登録システムにおいて、前記ユーザ端末または前記サーバが、前記編集・作成されたホームページをWWW対応とするためのHTML化手段をさらに備えたことを特徴としている。

【0015】また、請求項11に記載の発明は、請求項9に記載のホームページ作成・登録システムにおいて、前記サーバが、前記受信したカテゴリに基づいたレイアウト設定および前記記憶装置に格納されたホームページデータとのリンクを行うことによりWWW対応とするためのHTML手段をさらに備えたことを特徴としている。

【0016】また、請求項12に記載の発明は、請求項8または請求項9に記載のホームページ作成・登録シ

テムにおいて、前記サーバが、前記アドレスに関する情報の決定後、当該ホームページのインデックスを所定ページに登録する手段と、前記インデックスと前記格納したホームページデータとを連係させる手段をさらに備えたことを特徴としている。

【0017】また、請求項13に記載の発明は、請求項12に記載のホームページ作成・登録システムにおいて、前記サーバが、前記ホームページのインデックスを所定ページに登録した後、所定の期間が経過したときには、前記格納したホームページデータを削除するとともに、該削除したホームページのインデックスを該所定ページより削除する手段をさらに備えたことを特徴としている。

【0018】また、請求項14に記載の発明は、請求項8に記載のホームページ作成・登録システムにおいて、ホームページのアドレスに関する情報が、登録したホームページのアドレスとなるURL、登録したホームページ固有の識別子であるアクセスIDのいずれか1つ、もしくは両方であることを特徴としている。

【0019】次に、請求項15に記載の発明は、サービス・プロバイダ側に設けられたサーバと接続された対話型マルチメディア情報入力装置であって、前記ホームページを所定の操作方法にしたがって編集・作成するホームページ作成手段と、該作成されたホームページデータを前記サーバに送信する送信手段と、該送信の後に前記サーバより送出されるアドレスに関する情報受信する受信手段と、該アドレスに関する情報を含む情報を用紙に出力する出力手段とを備えたことを特徴とする対話型マルチメディア情報入力装置である。

【0020】また、請求項16に記載の発明は、請求項15に記載の対話型マルチメディア情報入力装置において、前記ホームページ作成手段では、ホームページの編集・作成に加え、さらに予め用意されたカテゴリ情報からカテゴリを決定を行い、前記送信手段では、作成されたホームページデータに加え、前記カテゴリとを前記サーバに送信することを特徴としている。

【0021】また、請求項17に記載の発明は、請求項15または請求項16に記載の対話型マルチメディア情報入力装置において、前記対話型マルチメディア情報入力装置が、前記編集・作成されたホームページをWWW対応とするためのHTML化手段をさらに備えたことを特徴としている。

【0022】また、請求項18に記載の発明は、請求項15に記載の対話型マルチメディア情報入力装置において、ホームページのアドレスに関する情報が、登録したホームページのアドレスとなるURL、登録したホームページ固有の識別子であるアクセスIDのいずれか1つ、もしくは両方であることを特徴としている。

【0023】次に、請求項19に記載の発明は、サービス・プロバイダ側に設けられたサーバと接続されて、作

成されたホームページに関する情報を前記サーバに登録するための対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記ホームページを所定の操作方法にしたがって編集・作成するホームページ作成手段と、該作成されたホームページデータを前記サーバに送信する送信手段と、該送信の後に前記サーバより送出されるアドレス情報を受信する受信手段と、該アドレスに関する情報を用紙に出力する出力手段として機能させるための対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録した記録媒体である。

【0024】また、請求項20に記載の発明は、請求項19に記載の対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録した記録媒体において、前記ホームページ作成手段では、ホームページの編集・作成に加え、さらに予め用意されたカテゴリ情報からカテゴリを決定を行い、前記送信手段では、作成されたホームページデータに加え、前記カテゴリとを前記サーバに送信することを特徴としている。

【0025】また、請求項21に記載の発明は、請求項19に記載の対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録した記録媒体において、前記対話型マルチメディア情報入力プログラムが、前記編集・作成されたホームページをWWW対応とするためのHTML化手段をさらに機能させることを特徴としている。

【0026】また、請求項22に記載の発明は、請求項19に記載の対話型マルチメディア情報入力プログラムを記録した記録媒体において、ホームページのアドレスに関する情報とは、登録したホームページのアドレスとなるURL、登録したホームページ固有の識別子であるアクセスIDのいずれか1つ、もしくは両方であることを特徴としている。

【0027】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0028】図1は本発明の一実施形態を示すシステム構成図、図2はユーザ端末1の構成図、図3はサーバ2の構成図である。

【0029】本システムは複数のユーザ端末1と、サーバ2と、ユーザ端末1とサーバ2を接続するインターネットやISDNを含んだ通信ネットワーク3で構成されている。本実施例ではユーザ端末1とサーバ2はISDN回線を介して接続される場合を例にして説明する。

【0030】ユーザ端末1は、ホームページの編集・作成に必要な情報を表示する表示部10と、予め用意されたホームページの構成と背景を記憶しているメモリ11と、ホームページの画像情報を入力するためのカメラ12と、ポインティング・デバイスである入力装置13と、ページプリンタである出力装置14と、スピーカ15と、硬貨投入口16と、ターミナルアダプタ17と、

10

20

30

40

50

回線接続部18と、処理部19で構成される対話型マルチメディア情報入力装置を備えている。

【0031】処理部19は、ホームページの編集・作成に必要な情報を表示部10に表示するデモ表示部19aと、カメラ12で撮影されたホームページの画像情報を入力する写真撮影部19bと、メモリ11に記憶されたホームページの構成と、カメラ12で撮影された画像情報からホームページを編集・作成し、作成されたホームページをWWW対応とし、またメモリ11に記憶されたパターンを選択し、予め用意されたカテゴリ情報からカテゴリを決定して記憶するメッセージ編集部19cと、作成されたホームページデータと前記カテゴリをターミナルアダプタ17と回線接続部18を介してサーバ2に送信するデータ転送部19dと、該送信後にサーバ2より送信されたURLを回線接続部18とターミナルアダプタ17を介して受信し、受信したURLとホームページデータに基づく情報を出力装置14から用紙に出力するURL出力部19eで構成されている。

【0032】サーバ2は、回線接続部20と、ターミナルアダプタ21と、ユーザ端末1によりホームページデータとカテゴリを受信するデータ受信部22と、メモリ23と、ホームページデータをカテゴリ情報により分類してホームページ蓄積部27に格納するホームページ登録処理部24と、ホームページのURLを決定するURL登録管理部25と、作成されたホームページをWWW対応とし、URL決定後、当該ホームページのインデックスを所定のページに登録し、インデックスと格納したホームページデータを連係させ、ホームページのインデックスを所定のページに登録した後、所定の期間が経過したとき、格納したホームページデータを削除し、決定されたURLをホームページデータを送出したユーザ端末1にターミナルアダプタ21と回線接続部20を介して送信する処理部26で構成されている。ここで、「カテゴリ」とは、ユーザ端末1で編集するホームページを、サーバ2のどの区分に登録するかを示すものであり、例えば「自己紹介」、「近況報告」、「伝言板」、「趣味道楽」等のカテゴリが予め決められているものとする。また、「ホームページデータ」とは、ユーザ端末1においてホームページ編集・作成され、サーバ2に送信されるデータをいう。

【0033】図4はホームページの作成・登録処理の流れの一例を示すフローチャートである。本ホームページ作成・登録処理はアイドリングフェーズと写真撮影フェーズとメッセージ編集フェーズとデータ転送フェーズとデータ処理フェーズとURL出力フェーズからなっている。

・アイドリングフェーズ

ユーザ端末1はアイドリング時、デモ表示部19aが表示部10にデモ画面を表示している(ステップ31)。デモ画面では、操作方法、出来上がったホームページ等

を表示している。開始の契機は利用者が硬貨投入口16よりコインを投入することである(ステップ32)。コインの投入により、メッセージ編集部19cは表示部10にホームページ作成を開始する旨のメッセージを出力し、簡単な操作説明を表示する(ステップ33)。次に利用者のアクション(開始ボタンの押下)により次の写真撮影フェーズに移行する(ステップ34)。

・写真撮影フェーズ

メッセージ編集部19cはメモリ11からホームページの構成、背景(図5)を選択し(ステップ35)、カメラ12を用い、写真撮影を行う(ステップ36)。背景の選択方法は、いくつかの背景パターンが表示されている中から、希望の背景を入力装置13で選択し、確定ボタンを押す。メッセージ編集部19cは背景の種類によりホームページを見る際のカテゴリを決定し、カテゴリ情報として記憶し(ステップ37)、次のメッセージ編集のフェーズへ移行する。

・メッセージ編集フェーズ

入力装置13から名前、構成に合った簡単なメッセージの入力を行い、メッセージ編集部19cでホームページを完成させる(ステップ38)。名前の入力についてもいくつかの主な名前をひらがな、カタカナあるいはローマ字で登録しておき、利用者は選択する。また、予め登録されていない名前の場合は、別途、文字選択を行うことにより入力できるものとし、入力完了後データ転送フェーズへいく。

・データ転送フェーズ

メッセージ編集部19cが完成したホームページを自動的にHTML形式に変換し(ステップ39)、ホームページ1ページ分のデータを生成する。例としてホームページ構成例を図6に示す。データ転送部19dは、生成したホームページにカテゴリ情報を付加した後、ISDNを介して接続されたサーバ2にファイル転送する。その後、データ処理フェーズ終了後にサーバ2から返送されてくるURL情報を待ち受け、受信した後URL出力フェーズへ移行する。

・データ処理フェーズ

サーバ2では、ホームページ登録処理部24が送られてきたホームページデータをカテゴリで分類して、ホームページ蓄積部27にセーブし(ステップ41、42)、URL登録管理部25がカテゴリ毎にURLを決定し、インデックスを本サービスの所定のページに登録するとともに、該インデックスからホームページデータにアクセスするためのリンクも自動的に設定する(ステップ43)。最後に、処理部26の決定したURLをユーザ端末1へ送信し、サーバ2のプロセスを終了する。

・URL出力フェーズ

ユーザ端末1では、URL出力部19eが、サーバ2から送られてきたURLと先に撮影した写真、入力したメッセージを編集し、出力する。URLはシールで名刺等

に添付できるようにする。

【0034】作成されたホームページを見るときは、サーバ2側の所定のページからカテゴリ分けされたそれぞれの情報にリンクをはり、それにより各登録されたホームページにアクセスする。ところで、写真撮影フェーズのステップ36において、カメラ12より撮影画像の入力とともに、図2に図示しないマイクを用いたメッセージ用の音声の入力も行ない、ホームページを構成するホームページデータとしてもよい。

【0035】図4では、ユーザ端末1が編集・作成されたホームページをWWW対応とするためのHTML化を行う(ステップ39)場合についての処理の流れを説明したが、以下ではユーザ端末1で前記編集・作成されたホームページを、サーバ2でWWW対応とするためのHTML化を行う場合についての処理の流れを図7を用いて説明する。図7において、アイドリングフェーズと写真撮影フェーズとメッセージ編集フェーズは図4と同じことから省略し、それ以降のデータ転送フェーズ、データ処理フェーズ、アクセスID出力フェーズの処理の流れのみを示している。なお、アクセスID出力フェーズは、図4におけるURL出力フェーズに対応するものである。

【0036】・データ転送フェーズ

データ転送部19dはISDNでサーバ2に接続し、図4のステップ36で撮影した撮影画像のファイルやステップ38で入力・選択したメッセージ、名前等のファイルおよびステップ37で選択したカテゴリ情報を送出する(ステップ40a)。一方、サーバ2は、端末1と接続が行われた後、各ファイルおよびカテゴリ情報をユーザ端末1より受信し、ホームページ登録処理部24によりホームページ蓄積部27の所定のディレクトリに格納する(ステップ51)。このとき、ユーザ端末1から送信されてきたファイル名およびこれらファイルを格納したディレクトリを抜き出し文字情報として、ファイルとは別に格納する。

【0037】・データ処理フェーズ

受信した各ファイルおよびカテゴリ情報を用いてHTML形式のホームページの作成を行う(ステップ52)。このステップは処理部26により行われ、その詳細を図8を用いて説明する。カテゴリ情報に対応したホームページのタイトルの選択を行い、HTMLの生成を行う(ステップ52a)。カテゴリ情報に対するタイトルはサーバ2側で予め決められているものとする。続いて、図4のステップ35で選択された背景に関してHTMLの生成を行う(ステップ52b)。なお、図4のステップ35では背景の選択の代わりにカテゴリ選択を行い、このカテゴリ情報に応じて背景の設定を行うようにしてもよい。なお、この場合は、サーバ2側でカテゴリ情報に対応して背景が予め定められているものとする。

【0038】次に、カテゴリに対応したテキストファイ

ル内の文書の文字のレイアウトを選択し、HTMLの生成を行うとともに、テキストファイルのファイル名、および、テキストファイルが納められたディレクトリの情報を連結してリンク先を記述したHTMLの生成を行う(ステップ52c)。なお、ここで言う「テキストファイル」とは、図4のステップ38で入力・選択したメッセージ、名前が格納されたファイルのことを言う。次に、画像ファイルのファイル名、および、画像ファイルが納められたディレクトリの情報を連結してリンク先を記述したHTMLの生成を行う(ステップ52d)。なお、ここで言う「画像ファイル」とは、図4のステップ36で撮影された撮影画像に関するファイルのことを言う。次に、音声ファイルのファイル名、音声ファイルが納められたディレクトリの情報を連結してリンク先を記述したHTMLの生成を行う(ステップ52e)。なお、ここで言う「音声ファイル」とは、上述したように図4のステップ36で撮影とともに録音される音声に関するファイルのことを言う。上記ステップによりHTML形式で作成されたホームページのデータをファイルとして所定のディレクトリに格納する(ステップ52f)。

【0039】以上は、文書、画像、音声ファイルの格納されているディレクトリがあらかじめ分かる場合であるが、リンクする文書、画像、音声ファイルの格納されているディレクトリが不明な場合には、以下のようにして処理を行う。図8のステップ52c～52dでは、文書、画像、音声ファイルが格納されたディレクトリが、HTML形式で作成されたホームページのファイルの格納されるディレクトリと一致するものとして、リンク先をHTML形式で生成する。そして、文書、画像、音声ファイルが格納されたディレクトリと図8のステップ52fでHTML形式で作成されたホームページのファイルが格納されたディレクトリの比較を行う。格納されたディレクトリが異なる場合には、ホームページのファイルが格納されたディレクトリを基準として、文書、画像、音声ファイルが格納されたディレクトリを検索し、相対ディレクトリを求める。そして、求めた相対ディレクトリの情報を用いて、ホームページのファイルにおける文書、画像、音声ファイルのリンク先の修正を行い、修正後のホームページのファイルの再格納を行う。

【0040】ところで、一般に文書、画像、音声ファイルの格納されているディレクトリは深い位置、すなわち、ルートディレクトリから複数のディレクトリを介した位置に格納され、文書、画像、音声ファイルが格納されるディレクトリとホームページの格納されるディレクトリは、たとえ異なっても近い場合が多い。そのため、格納されたディレクトリが異なる場合に、ホームページのファイルが格納されたディレクトリを基準として、文書、画像、音声ファイルが格納されたディレクトリまでの相対ディレクトリを求めて、修正することにより、リ

10

20

30

40

50

リンク先を記述する文字列の長さを短くすることができる。以上のようにして、ホームページのファイルに記述する文書、画像、音声ファイルのリンク先を決める際に全部同じディレクトリに入っている、別のディレクトリに入っているにも対応可能となる。

【0041】続いて、図7に示すように作成したホームページの登録を処理部26により行う（ステップ53）。この処理の詳細を図9から図12を用いて説明する。はじめに、サーバ2が提供するページの一例を図10から12を用いて説明する。図10は、サーバ2が提供するフロントページであり、「自己紹介編」、「近況報告編」といったカテゴリ別の検索、および、「登録順」での検索が選べるページが準備されている。そして、「登録順」61を選択すると図11に示すような登録順ページであるトップページに移る。ここで、ユーザ端末1により登録されたホームページに移りたいときには、移りたいホームページに対応するボタン、例えばボタン64を押すことにより対応するホームページに進むことができる。

【0042】同様に図10において、「自己紹介編」62を選択すると図12に示すようなカテゴリ別ページである自己紹介編のページに移る。ここで、ユーザ端末1により登録されたホームページに移りたいときには、移りたいホームページに対応するボタン、例えばボタン63を押すことにより対応するホームページに進むことができる。よって、新たなホームページの登録を行う場合には、図11の登録順のページであるトップページ、および、カテゴリ別のページであるカテゴリ別ページの修正を行わなければならない。

【0043】そこで、図9に示すように、登録順のページであるトップページへの登録を行う（ステップ53a）。トップページへの登録は、このページを記述したファイルを読み出し、リストに登録するためにホームページのデータであるカテゴリ、名前等のインデックスの登録をHTMLで生成するとともに、ホームページのファイル名、格納されたディレクトリ名を用いてリンク先をHTMLで生成する。続いて、カテゴリ情報に応じてカテゴリ別のページへの登録を行う（ステップ53b）。カテゴリ別のページへの登録は、このページを記述したファイルを読み出し、リストに登録するためにホームページのデータである名前、メッセージ等のインデックス登録をHTMLで生成するとともに、ホームページのファイル名、格納されたディレクトリ名を用いてリンク先をHTMLで生成する。そして、修正したトップページおよびカテゴリ別ページのファイルの再格納を行う（ステップ53c）。

【0044】最後に図7に示すようにアクセスIDの生成をURL登録管理部25により行う（ステップ54）。ところでユーザ端末1から登録されたホームページは図6に示すような構成をしており、このホームペー

ジにアクセスした人は、符号70に示す欄にメッセージを書き込むことができる。そこで、ユーザ端末1からホームページに登録した人が、書き込まれたメッセージを見ることができるようにアクセスIDが生成される。すなわち、このアクセスIDを入力することによりはじめて書き込まれたメッセージを見ることができるようになる。

【0045】このアクセスIDは、サーバ2によりホームページのファイル名と格納ディレクトリの文字列から自動的に生成される。よって、アクセスIDからホームページのファイル名と格納ディレクトリを一意に決定することができるので、ホームページの格納されたディレクトリおよびホームページのファイル名とアクセスIDを関連付けて記憶しておく必要はない。なお、アクセスIDに加えて、パスワードをさらに生成するようにしてもよい。最後に、決定したアクセスIDをユーザ端末1へ送信し、サーバ2のプロセスを終了する（ステップ55、ステップ45a）。このとき、パスワードの生成も行った場合には、パスワードの送信も行う。また、これらに加えてURLの生成、送信を行ってもよい。なお、アクセスID、パスワード、URLが登録したホームページのアドレスに関する情報となる。

【0046】アクセスID出力フェーズ

ユーザ端末1では、URL出力部19eが、サーバ2から送られてきたアクセスIDと先に撮影した写真、入力したメッセージを編集し、出力する。アクセスIDはジールで名刺等に添付できるようにする（ステップ46a、47a）。なお、パスワードやURLの送信も行われた場合には、これらの情報も出力する。以上のようにしてサーバ2側で、文書、画像、音声ファイルといったホームページデータおよびカテゴリ情報に基づくWWW対応のためのHTML化およびホームページの登録が行われる。このようにしてサーバ2にユーザ端末1から登録されたホームページは、図1に示すようにインターネットに接続されたすべてのパーソナルコンピュータ等の端末から閲覧することができる。

【0047】なお、サーバ2は、ユーザ端末1から受信・登録したホームページデータが所定の期間が経過したとき、格納したホームページデータに関するデータを削除するが、この時、図4のステップ43あるいは図7のステップ53で登録した所定のページにおけるインデックスおよび該インデックスからホームページデータにアクセスするためのリンクに関する情報の削除も同時に行う。このように、所定の期間が経過したときに、格納したホームページを削除するのは、図1に示すホームページ蓄積部27の記憶容量が有限であり、古くなったホームページデータの削除によりホームページ蓄積部27に新たに蓄積するホームページデータの記憶領域を確保するためである。

【0048】また、図1においてユーザ端末1とサーバ

2とは、通信速度等の関係からISDN回線で接続されることが望ましいが、これに限定されるものではない。また、ユーザ端末におけるデモ表示部19a、写真撮影部19b、メッセージ編集部19c、データ転送部19d、URL出力部19eを実現するためのプログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録して、この記録媒体をコンピュータに読み込ませ、実行することによりユーザ端末1における対話型マルチメディア情報入力を行ってもよい。さらに、サーバ2のホームページ登録処理部24、URL登録管理部25、処理部26の動作を実現するためのプログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録して、この記録媒体をコンピュータに読み込ませ、実行することによりサーバ2の動作を実現するものであってもよい。

【0049】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、ホームページ作成から登録までの一連の操作を簡便化することができ、利用者にとってインターネットに対してアクセスし易い環境を提供することができる。また、アドレスに関する情報を含めて用紙に出力されるので、ユーザ端末を用いてホームページを開設したユーザ自身が、そのホームページがどこにあるか控えておく必要がないとともに、他の者にユーザのホームページを容易に教えることができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施形態を示すシステム構成図である。

【図2】 図1中のユーザ端末1の構成図である。

【図3】 図1中のサーバ2の構成図である。

【図4】 ホームページ作成・編集処理の流れの一例を示すフローチャートである。

【図5】 ホームページ背景画面の例を示す図である。

【図6】 ホームページの構成を示す図である。

【図7】 他のホームページ作成・編集処理の流れの一例を示すフローチャートである。

【図8】 図7におけるHTML形式のホームページの作成の詳細な処理の流れを示すフローチャートである。

【図9】 図7におけるホームページデータの登録の詳細な処理の流れを示すフローチャートである。

【図10】 フロントページの一例を示す図である。

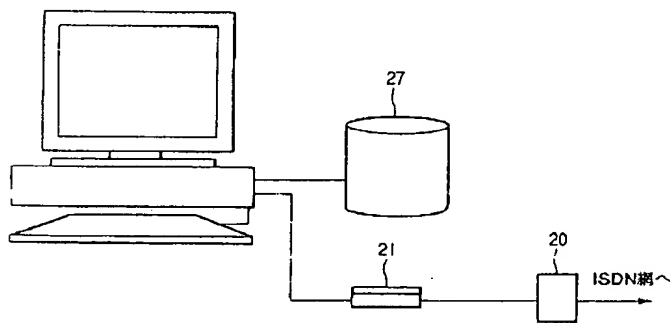
【図11】 登録順ページであるトップページの一例を示す図である。

【図12】 カテゴリ別ページの一例を示す図である。

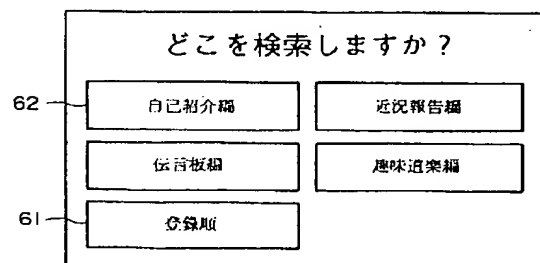
【符号の説明】

1 ユーザ端末	2 サーバ
3 通信ネットワーク	10 表示部
11 メモリ	12 カメラ
13 入力装置	14 出力装置
15 スピーカ	16 硬貨投入口
17 ターミナルアダプタ	18 回線接続部
19 処理部	19a デモ表示部
19b 写真撮影部	19c メッセージ編集部
19d データ転送部	19e URL出力部
20 回線接続部	21 ターミナルアダプタ
22 データ受信部	23 メモリ
24 ホームページ登録処理部	25 URL登録管理部
26 処理部	27 ホームページ蓄積部

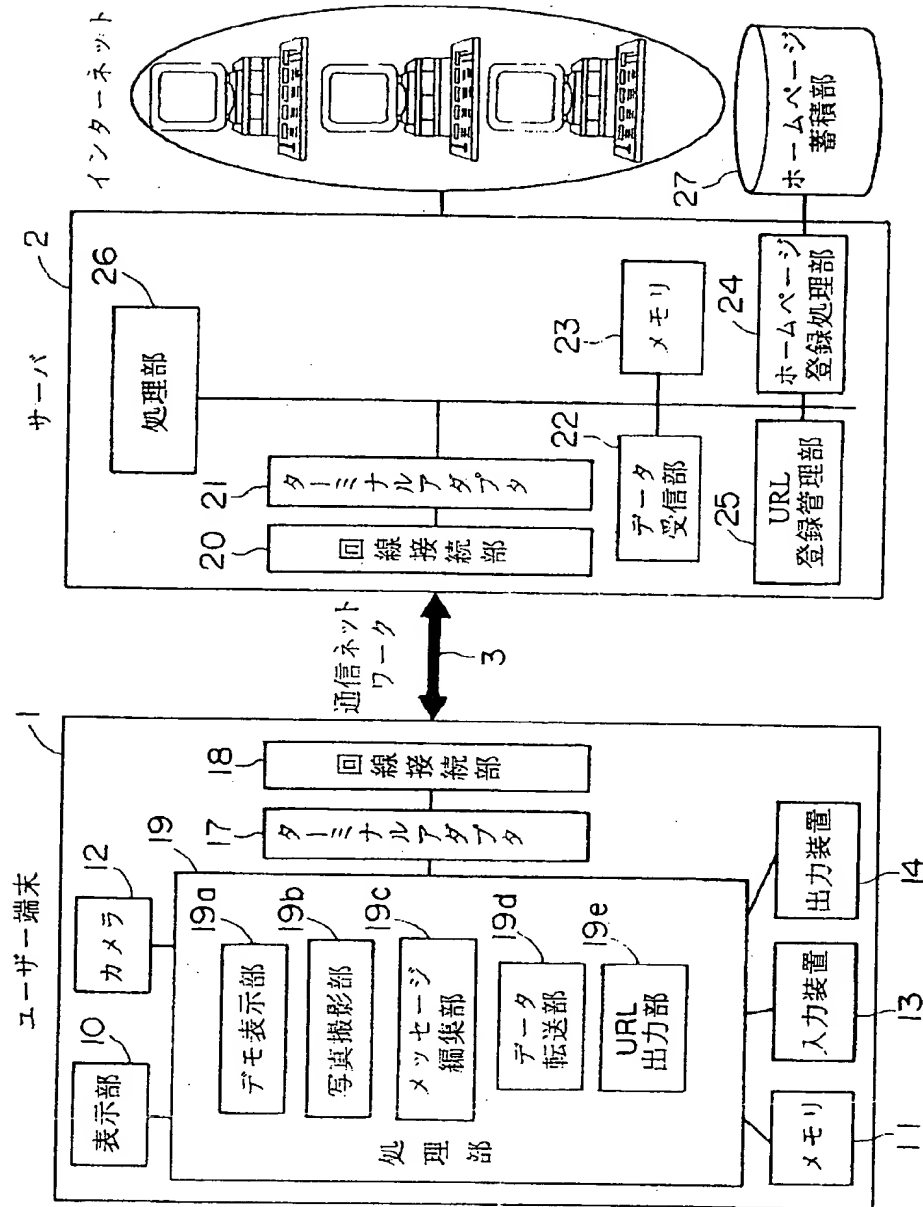
【図3】



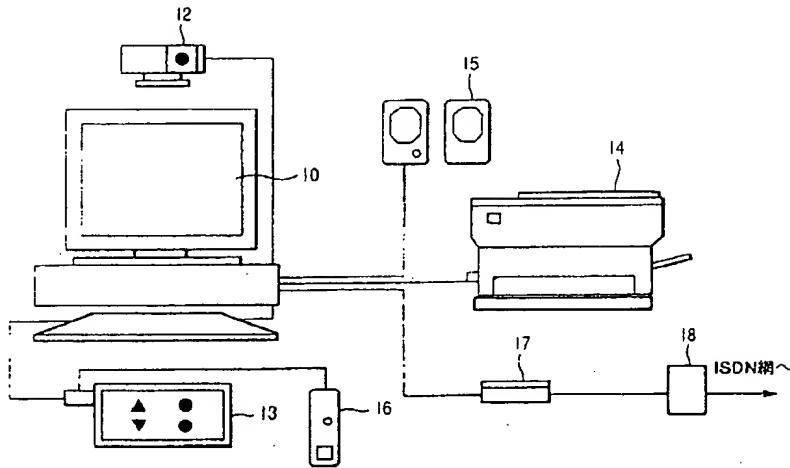
【図10】



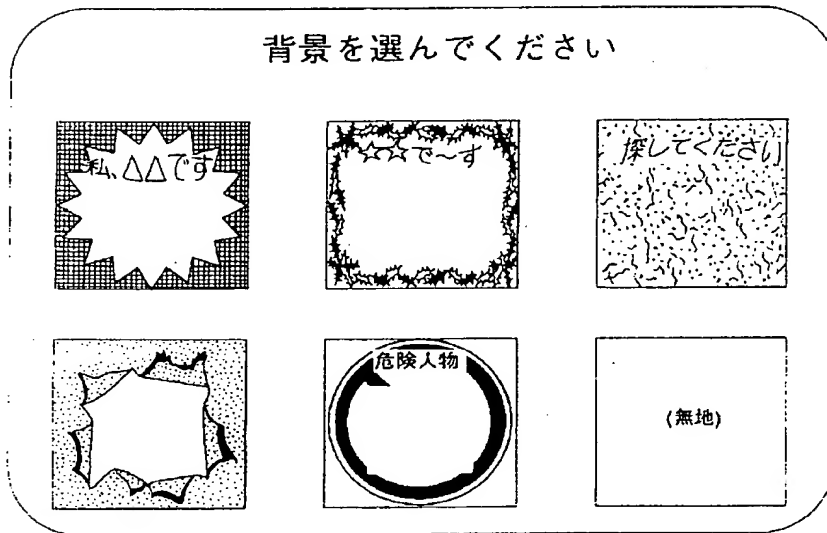
【図1】



【図2】



【図5】



【図11】

登録順

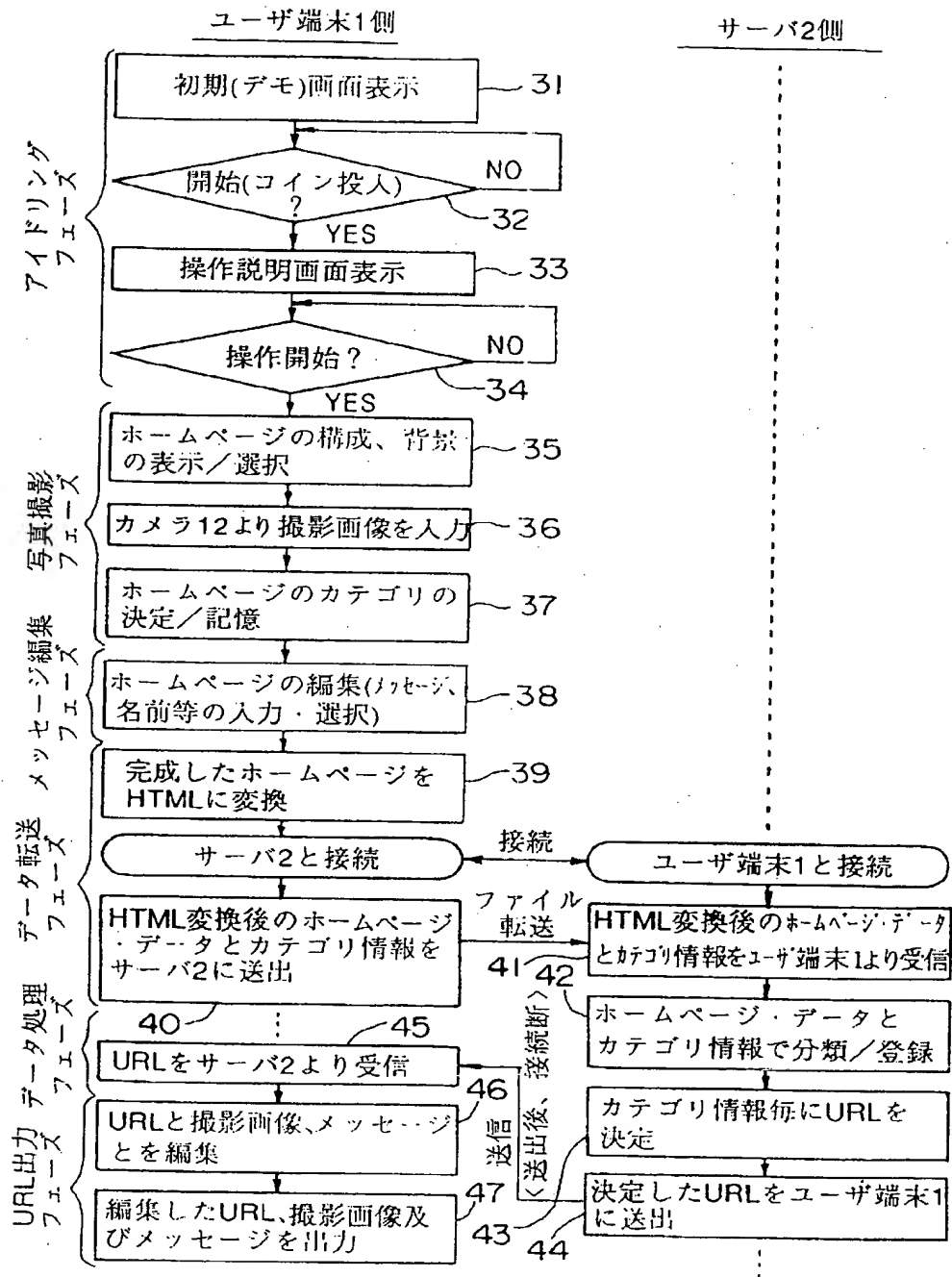
	カテゴリ	名前	メッセージ
64 <input type="checkbox"/>	*****	*****	*****
<input type="checkbox"/>	△△△△	△△△△	△△△△
<input type="checkbox"/>	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
<input type="checkbox"/>	××××	××××	××××

【図12】

自己紹介編

	名前	メッセージ
63 <input type="checkbox"/>	*****	*****
<input type="checkbox"/>	△△△△	△△△△
<input type="checkbox"/>	〇〇〇〇	〇〇〇〇
<input type="checkbox"/>	××××	××××

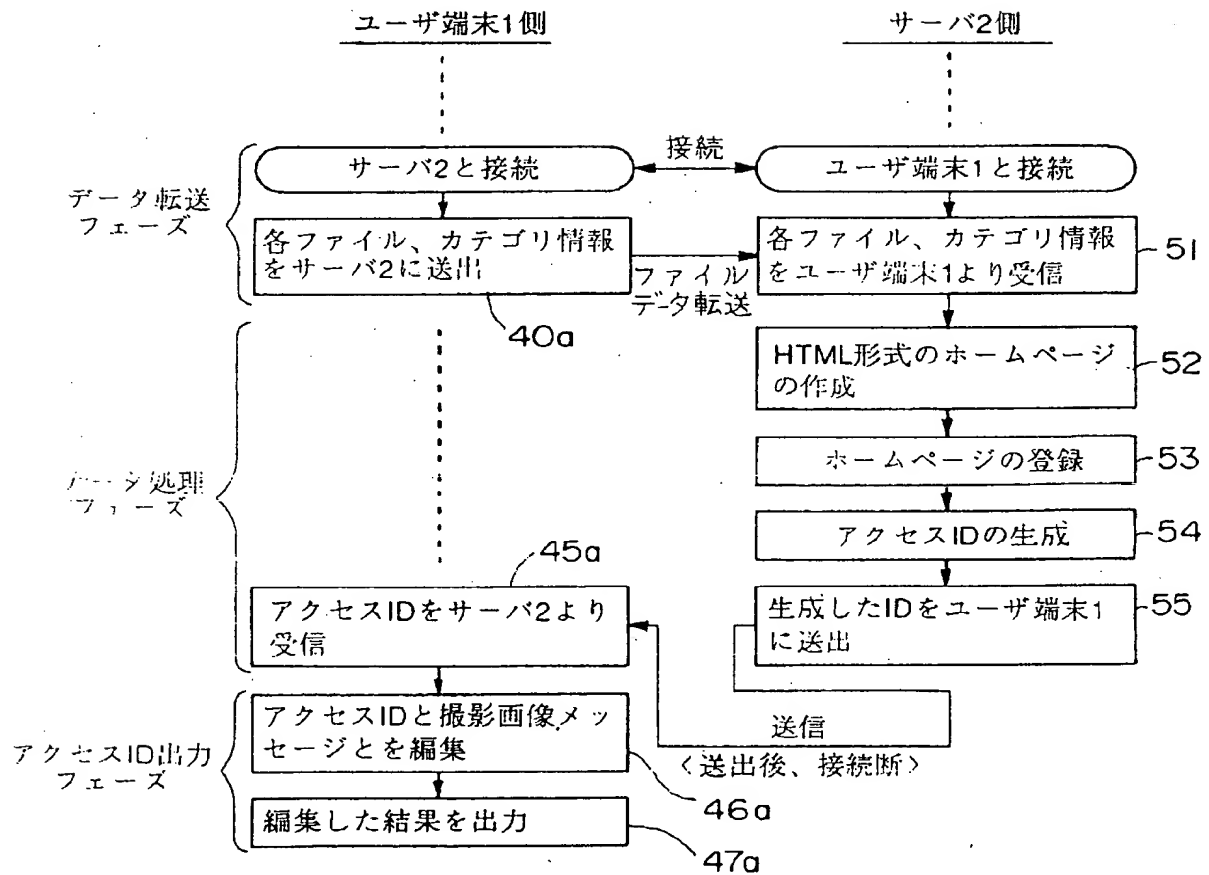
【図4】



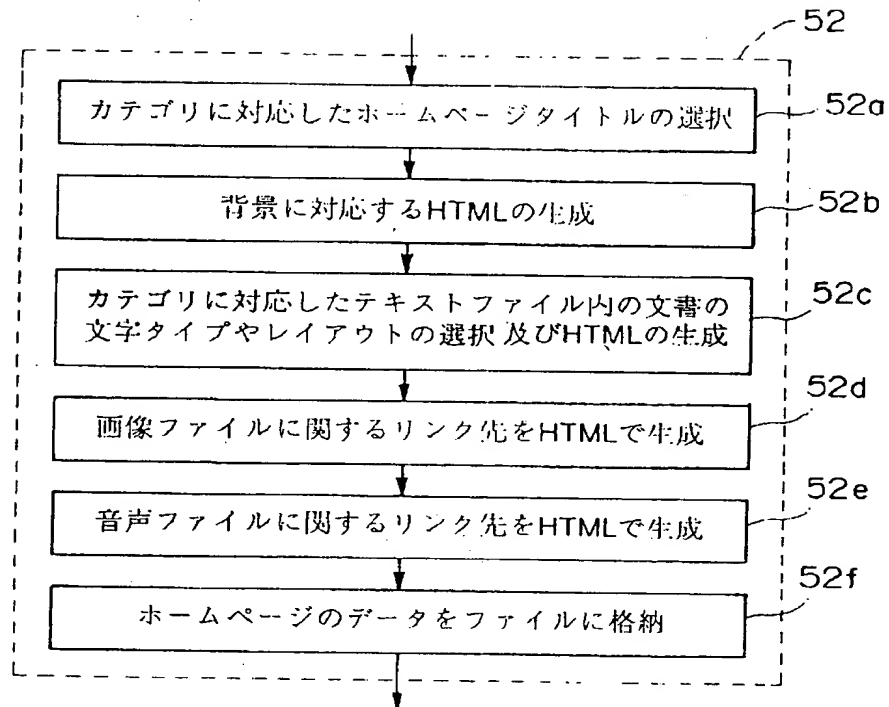
【図6】



【図7】



【図8】



【図9】

